



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

被爆者・若い世代とともに未来切りひらこう

原水爆禁止2018世界大会・広島

西日本豪雨災害の救援・復興と、その後の猛暑が続く中、8月4日～6日、原水爆禁止2018世界大会・広島が開催され、日本共産党春日部市委員会から今尾やすのり議員が代表参加しました。

連帯の力 力強く前進

4日の開会総会には約5千人が参加。海外代表として23か国から98名(40各国団体、3国際/地域団体のNGO代表・個人および政府代表4名)の参加がありました。

また、「総がかり行動実行委員会」の福山真劫共同代表、「辺野古新基地を作らせないオール沖縄会議」の山本隆司事務局長が初参加で連帯あいさつをおこないました。

主催者報告で富田宏治さんは、「先立って開かれた国際会議の宣言文をさらに深め、核兵器のない世界実現にともな力を尽くしましょう」とあいさつしました。

自治体からも 声あげよう

5日は、市内各地で分科会

が開かれ、「非核平和の自治体づくり」に参加しました。はじめに日弁連憲法問題対策本部委員(核廃絶PT所属)の森一恵弁護士から、「核兵器禁止条約の意義と条約本文を学ぶ。ー平和行政を進める意義」と題して講演が行われました。

核兵器禁止条約の意義として、①核兵器使用の違法性を基礎②被爆者の努力と被爆者救済に言及③核兵器の開発・実験・移譲・配備・使用・使用の威嚇など包括的に禁止をあげました。

平和行政を進める意義では、①核兵器禁止条約への署名・批准の働きかけ②非核3原則法制化の促進が提起されました。

参加者発言では、兵庫県自治体職員が首長への被爆者署名に取り組み、県知事や市長の顔写真付きで賛同ポスターを作ったことなどが報告され

ました。

「諦めるな。 押し続ける」

6日の閉会総会には、約6千人が参加しました。

日本共産党小池晃書記局長があいさつし、「市の平和式典で、安倍総理は、核兵器禁止条約に一言も触れなかった。一体どこの国の総理なのか」との批判に会場からは大きな拍手が起きました。

最後に、世界大会決議「広島からのよびかけ」が満場一致で採択されました。

【世界中の全ての皆さんに、広島の廃墟の中で私が聞いた言葉を繰り返したいと思います。「諦めるな。押し続ける。光が見えるだろう。そこに向かってはって行け」】

*決議文内の、ノーベル平和賞受賞時の被爆者・節子サローさんの演説の一部です。

*日曜版8月12日号は、8月19日号との合併号です。したがって、

8月19日付けの「新春日部」の発行はありません。

震災を乗り越え人口増へ

宮城県名取市を視察

7月11日、日本共産党市議団6名は、宮城県名取市(人口78,360人)において、震災復興の現状などについて視察しました。

環境都市として 新たな街づくり

名取市では、2011年の東日本大震災で死者883人・行方不明者41人、半壊以上の建物5000棟以上という甚大な被害を受けました。また、農地は海水の塩害により農作物が育てられないという二重の被害となりました。

震災後の懸命な復旧・復興の取り組みで、2013年には、発生した96万トン

のガレキの処理が終了。自然と共生し発展する環境都市としての新たな復興まちづくりが始まりました。

津波被害の大きかった沿岸部の閑上(ゆりあげ)地区の、多重防衛・地盤かさ上げ、災害公営住宅の整備や名取駅前復興市街地再開発事業などが進んでいます。

名取市の人口は震災で一旦は減少したものの、復興の取り組みと、2007年開通の仙台空港アクセス鉄道により空港臨空都市として人口流入が続いており、現在では震災前の人口を上回りました。

| 年月 | 状況 | 人口 |
|---------|------|--------|
| 2011.2末 | 震災前 | 73,229 |
| 2011.7末 | 震災直後 | 71,497 |
| 2018.6末 | 現在 | 78,360 |

復旧・復興の財源 は全額国費が基本

復旧・復興は2019年度の復興達成に向けて取り組まれています。

復興事業費は、県が実施主体の圃場整備事業や、今後見込まれる事業も含めると約1500億円となり、主な財源は「東日本大震災復興交付金事業」および「災害復旧事業」が充てられています。



閑上地区 復興公営住宅

国が集中復興期間と定めた2015年度までは、復旧・復興の事業費は全額を国が負担していました。しかし、2016年度からは「被災自治体も負担能力の範囲内で事業費を負担するべき」と、事業費の1%の負担を求められています。これは問題です。復旧・復興の財源は全額国費で賄うのが基本です。

名取市では国や県からの財政支援により、財政調整基金は震災前の約20億円から現在は約106億円に増えました。災害への備えは、もちろん必要ですが、財政を過度にため込む必要は無いことがわかりました。春日部市では、災害への備えが必要として、市民サービスの切り捨てや、負担の押し付けで42億円もの財政調整基金をため込んでいますが、これは誤りです。ため込みをやめて暮らしに回すべきです。

- 市立医療センター TEL 735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
- 8/12(日) 有賀内科クリニック(内科系) 中央1-4-6カワ第3ビル 2F TEL 760-2703
- ゆりのき医院(小児科系) 谷原1-16-20 TEL 752-3535 かすかべ整形(外科系) 粕壁東2-1-35 TEL 760-2551
- 8/19(日) 木田内科医院(内科系) 中央1-11-4清興ビル1F TEL 763-0183
- 岩本小児科医院(小児科系) 谷原3-12-1 TEL 795-8796 岩松医院(外科系) 栄町1-334 TEL 761-0077

